

セキュラトピック ～福岡市の中心地に滞在型ホテルがオープン！マイロックを採用いただきました！

今年オープン予定の、株式会社SHI様の「レジデンスホテル」にセキュラのマイロック及びVリーダーを設置させていただきましたので、ご紹介いたします。

福岡市は近年インバウンド事業に力を入れており、観光に訪れる外国人も非常に多くなりました。また、国際会議の招致も積極的におこなっており、先頃はG20財務大臣・中央銀行総裁会議が開催されるなど国際色豊かな都市となっています。

このような中で、(株)SHI様は、訪日外国人の方々を意識したロングステイも可能な滞在型ホテルに力を入れており、今回「レジデンスホテル ハカタ20」を福岡市中央区の渡辺通にオープンいたします。レジデンスホテルシリーズは、これまでに福岡市内に数多く建設されており、その特色はマンション型のホテルであり、全部屋にキッチン・冷蔵庫・洗濯機が設置され『暮らすように泊まる』というコンセプトのもと、少人数から大人数まで、またあるいはショートステイからロングステイまで、幅広いお客様のニーズに対応できる仕様となっていることです。

また、通常ホテルといえば宿泊先のフロントでチェックインをおこないカギを受け取りますが、レジデンスホテルでは、チェックインの場所は福岡駅すぐそばにある受付専用フロントで一括して行われます。そこで各ホテルに応じてカギや暗証番号を受け取った後、ホテルへ向かい客室に入室できる仕組みとなっています。そのためホテル内には受付フロントはありません。その点ではウィークリーマンションに近い運営形態といえるのかもしれません。

ここにセキュラのマイロックを各部屋に、Vリーダーをエントランスに設置いたしました。

暗証番号やカードで解錠できるマイロックは、こうした運用形態のホテルにうってつけの電子錠です。

今後も訪日外国人の需要が見込まれるホテル業界においてマイロックがお役立ちの一つになれば幸いです。

外観

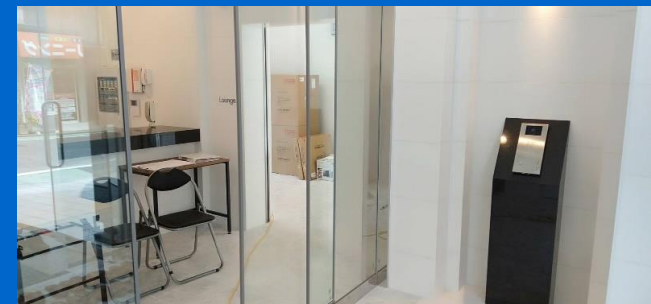


九州最大の繁華街「天神」近くに建築されたホテルであり、交通の便はもちろんグルメやショッピングを楽しむのに最高の立地です。一見すると高級マンションのような外観ですが、これもレジデンスホテルの特徴となっています。部屋は13階建て33室からなっており、最上階は大人数でも宿泊できる仕様となっています。



正面エントランスもネイビーブルーで統一し、落ち着きと洗練さを漂わせて高級感を演出しています。

エントランス



エントランスには、セキュラの『Vリーダー』（カードリーダー）が設置されています。宿泊者は別の場所にある受付フロントでチェックインを済ませると、専用のカードを受け取ることができ、その後ホテルへ向かいます。エントランスでは、自動ドアは専用カードが無いと開きませんので、不特定多数の出入りができませんので、宿泊者の方も安心です。



セキュラ『Vリーダー』。読み取り部にカードをかざして自動ドアを解錠します。台座も洗練されたものを採用し、ホテルの雰囲気作りに一役買っています。



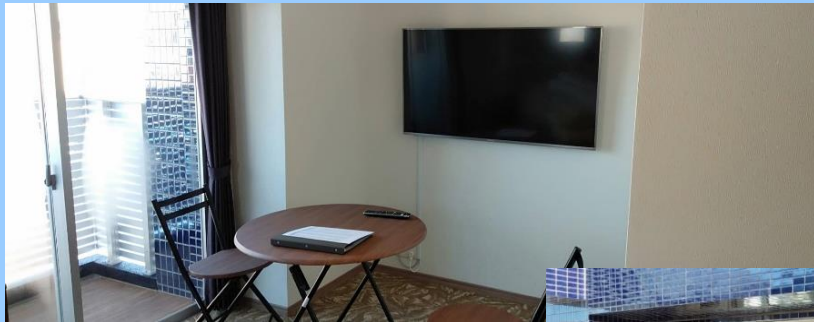
客室



各部屋にはセキュラ『VF-10』が設置されており、エントランスと同じ専用カードで入室します。



ミニキッチンもあり、自炊も可能です。



12階や13階は、大人数でも宿泊できる特別仕様の部屋となっています。
上) 壁掛けの大型液晶テレビ。
右) 最上階は最大9名様まで宿泊可能。
広々とした屋外テラスも付いており、まさに暮らすように泊まることができる、コンセプト通りのホテルとなっています。



今月の言葉 【勤労感謝の日】

11月23日は勤労感謝の日です。「勤労を尊び、生産を祝い、国民互いに感謝しあう」ことを目的として昭和23年に祝日として制定されました。

この祝日の由来は、**新嘗祭**（にいなめさい）といい、秋の収穫に感謝し五穀豊穡のお祝いがこの祝日のルーツです。農業国家である日本において、天皇が神に五穀を奉納しながら毎年の作物の収穫を感謝する宮中祭祀であり、飛鳥時代から行われてきたともいわれ、古代から脈々と伝わる伝統行事です。

昭和20年の敗戦でGHQにより新嘗祭は天皇行事・国事行為から切り離され「勤労感謝の日」という形でカレンダーに残ることになりました。

もともとは穀物に感謝する日ですが、今でもその気持ちは大切にしなければなりません。そして、食べる喜び、仕事ができる喜び、毎日生活できる喜び。あって当たり前と言えるものでも、実はまわりの多くの人のおかげで成り立っています。

職場や友人、そして家族に対して感謝し、また自分の置かれている環境に感謝する事。勤労感謝の日はそうした事を振り返る良いきっかけの一日になると思います。

東京散策～谷中銀座

JR山手線・日暮里駅を出て西に5分歩くと昔ながらの商店街が現れます。約170メートルの間におよそ60軒の商店が建ち並び、レトロな雰囲気の中、地元の買い物客はもちろん、国内外の観光客が買い物を楽しんでいます。週末は特に多くの人で賑わいます。



商店街の醍醐味である『食べ歩き』。様々なお店が並び、食べるだけで一日が過ごせるくらいです。



谷中銀座は猫の町としても有名です。雑貨屋さんには、ねこにまつわるグッズが色々と販売されています。



『夕焼けだんだん』階段上から谷中銀座を見下ろす風景は有名な夕焼けスポットになっています。